

ダイワ欧州高配当株ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) 最近の運用状況と今後の見通しについて

2016年7月5日

平素は、「ダイワ欧州高配当株ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
最近の運用状況と今後の見通しについて、お知らせいたします。

【為替ヘッジあり】

◀ 基準価額・純資産の推移 ▶

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年7月4日現在

基準価額	9,581 円
純資産総額	82億円

期間	ファンド
1か月間	-0.1 %
3か月間	+1.7 %
6か月間	-6.4 %
1年間	-9.3 %
3年間	-----
5年間	-----
年初来	-7.1 %
設定来	+6.5 %



【為替ヘッジなし】

◀ 基準価額・純資産の推移 ▶

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年7月4日現在

基準価額	7,973 円
純資産総額	30億円

期間	ファンド
1か月間	-10.7 %
3か月間	-11.6 %
6か月間	-23.0 %
1年間	-29.1 %
3年間	-----
5年間	-----
年初来	-24.4 %
設定来	-8.6 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212 (営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

〈市場環境〉

英国でEU(欧州連合)残留か離脱かを問う国民投票が6月23日(現地)に実施され、離脱が多数となりました。投票日直前には残留支持多数との見方がコンセンサスだったため、離脱支持多数との結果が市場参加者に驚きをもたらしました。そのため市場は大荒れとなり、世界的に株式市場は下落しました。為替市場でも英ポンドが急落し、他の欧州通貨も軒並み下落となる一方、円が上昇し、典型的なリスク回避の相場となりました。

ロンドン株式市場は、大手国内銀行や住宅開発業者など主に英国で事業を展開する企業を中心に株価が大きく下落しました。また、今後の欧州の政治的・経済的不透明感が著しく高まった結果、欧州株式市場では、欧州域内で事業を展開している大手銀行や保険会社が大きな下落となりました。一方で、グローバル企業の大手製薬会社や食品会社は、欧州通貨安がプラスに働くとみられたことから、株価の変動は緩やかなものとなりました。

〈運用状況〉

安定的なキャッシュフローを生み出すことができる、強固な収益基盤を持つ企業や、景気の改善や緩和的な金融環境を背景に、業績の上方修正が期待される企業を中心にポートフォリオを構築しています。英国企業については、国民投票前の動向を注視し、中長期の視点から組み入れています。

〈英国のEU離脱を受けて〉

国民投票でEU離脱が多数となりましたが、現実に離脱に至るには政治的にも実務的にも紆余曲折が予想されます。英国のEU離脱交渉は2年以上かかる見込みで、EUとの間で貿易協定や各種制度の改変など、離脱後の条件に関して合意する必要があります。この間、英国だけでなく欧州全体を不透明感が覆い、企業や消費者の投資マインドを通じて景気を抑制する可能性が高いと考えられます。また、今回の国民投票がEUの他の加盟国に与えた潜在的な影響も小さくありません。EU内のいくつかの国では英国と同様に国民投票の実施を求める声が高まっており、EU統合の深化に再びほころびが生じる可能性も否定できません。

〈今後の見通し〉

今回の国民投票の結果を受けて、政治、経済の混乱は避けられず、市場が落ち着きを取り戻すには相応の時間がかかると考えられます。そのため、金融市場は短期的には値動きの荒い展開が予想され、投資家センチメントの好転には時間を要すると思われれます。

こうした不透明な環境において、企業はビジネスや投資判断を遅らせる可能性があり、欧州を中心に事業を展開する銀行やメーカー、広告会社はこれらの影響を受けることが予想されます。一方で、国際的に営業活動を行うグローバル企業にとっては、英ポンドなど欧州通貨の全般的な下落が、価格競争力の向上やコスト低下などプラスに働く面もあり、今回の国民投票の結果が、それら企業の営業活動に与える直接的な影響はそれほど大きくないと考えています。また、強固な収益基盤により安定したキャッシュフローを生み出す高配当銘柄については、高い配当利回りが株価を支える要因になると考えられます。さらに、国債利回りの低下により高配当銘柄の魅力度は一段と高まっています。大荒れの市場において市場全体の下落と連動して売られた銘柄もあり、個別銘柄選別投資のチャンスは大きいと考えています。あらためて高配当企業のファンダメンタルズ分析に注力し、こうした個別銘柄投資のチャンスを投資リターンに結びつけていきたいと考えております。ポートフォリオについては、通貨安の恩恵を受けるグローバル銘柄や、強固なビジネスモデルを持ち、安定したキャッシュフローを生み出す高配当銘柄を中心に構築していきます。引き続き、今回の投票結果を受けたマクロ動向や個別企業への影響を見極め、パフォーマンスの向上に努めてまいります。

以上

ダイワ欧州高配当株ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

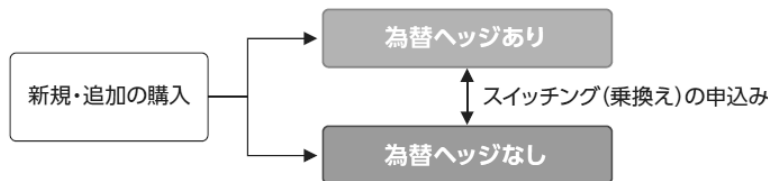
- 欧州の株式等の中から、予想配当利回りが高い銘柄を中心に投資し、安定的な配当等収益の確保と株式等の値上がり益の獲得を追求することにより、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 欧州の金融商品取引所上場株式等の中から、予想配当利回りが高い銘柄を中心に投資します。
※株式等にはリート（不動産投資信託）を含みます。
2. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。
「為替ヘッジあり」は、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
「為替ヘッジなし」は、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。
※基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

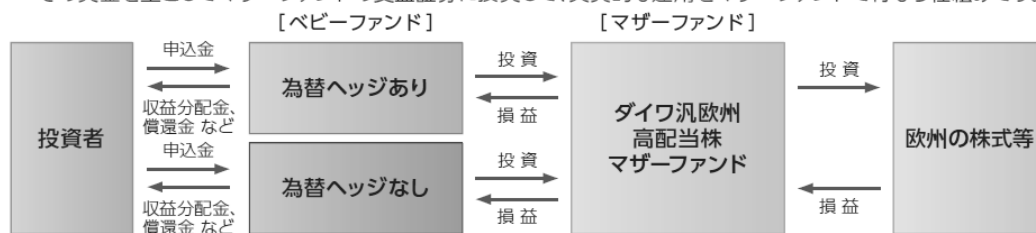
スイッチング(乗換え)について

- 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。



ファンドの仕組み

- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。
ファミリーファンド方式とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



- マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

ダイワ欧州高配当株ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク(株価の変動・リートの価格変動)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※「為替ヘッジあり」は、為替ヘッジを行ないませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。また、為替ヘッジに伴うコストが発生し、基準価額が変動する要因となります。

※「為替ヘッジなし」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問い合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.62% (税抜 1.5%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」に記載しています。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会